

上一定ノ範圍以外ニ割引困難トナリ更ニ一步ヲ進メ商港繁榮策トシテ特別割引ヲ實行セントスルニハ官私混交ノ鐵道營業ニテハ行政上ヨリ種々ノ困難問題發生シ其實行容易ナラザルモノナリ

以上ノ外ニ關稅上ノ關係ハ大ニ商港發達ニ影響アルモノニシテ佛國ノ關稅法ノ如キハ酷ニ失スルト云フノ許アリ殊ニ近年歐州各地ニ實施セラル、トコロノ自由港又ハ自由區域ノ制定ノ如キモニ其利害ヲ大ニ考究スベキモノトセラレタリ

○世界一大運河工事ノ現況　英國土木工師會々長さあ、ありあむ、まづづゆうす(Sir William Matthews)演説ノ一節千九百七年十一月十五日えんぢにありんぐ抜萃)

一 蘇士運河

千八百五十五年ヨリ六年ニ亘リテ最初ノ委員會ガ運河計畫ヲ審議シタルトキハ最小幅員ヲ敷ニ於テ百四十四呎水面ニ於テ二百六十二呎トシ(此幅員ハ即チびつた一湖ト地中海ノ間ニ採用セントシタルモノナリ)水ノ深サラ八米突(二十六呎四分ノ一)ト豫定セリ斯くて愈々實際ニ當リテ此水深ハ採用セラレタレドモ敷巾ハ僅カニ七十二呎ニ減セラレタリ蓋シ當時ニ在リテハ此大工事ノ完成ニヨリテ歐洲ト東洋間ノ航路ヲ短縮スルコト大ナルガ爲メニ其通航船舶ニ對シテ重稅ヲ課セラル、ニモ拘ラス各船主ヲシテ競ツテ新航路ヲ利用スルニ至ラシメタル后日ノ成効ヲ先見スルコトノ容易ナラサリシヲ察スベシ

水路ヲ充分ノ斷面ニ取擴タルコトノ要求ハ終ニ千八百四十四年ノ委員指名トナリ後更ニ其中ヨリ特別委員ヲ設クルニ至レリ該特別委員ノ一人さあ、ちやあるすはあこれい(Sir Charles

(明治十四年二月)

行上頓挫シタル際佛國官吏ノ手ニ渡リ同國政府管理ノ下ニ更ニ或一會社ニ譲リタル財產及
ヒ所有物ノ全部ヲ擧ケテ其所有權ヲ取得シタリスクテ千九百二年六月議會ヲ通過シ合衆國
ニ於テすぶーなー、あくど(Spooner Act)トシテ知ラル、決議ノ下ニ運河開鑿工事ヲ進行セシムル
途開カレタリ此決議ニ據レハ大統領ハ巴奈馬線ニ據リ運河ヲ開鑿セサルベカラス且ツ現存
セル最大噸數及ヒ最大吃水ノ船舶ハ勿論將來道理的ニ豫想シ得ラルヘキ大船舶ノ通航ニ支
障ナキ丈ケニ充分大ニ且ツ相當ノ水深ヲ有セシメサルベカラサルコトヲ規定セリ而シテ大
統領ハ乃チ此工事ノ目的ノ爲ミニ運河委員ヲ指名セリ

水路ノ撰定ニ關シテハ線路ノ大部分ハ既ニ佛國ノ二會社ニヨリテ遂行セラレタル工事ニヨ
リテ略決定シ居タル處ニシテ、大統領ハすぶーなー、あくどノ箇條ノ下ニ該既施工事ヲ利用ス
ルコトヲ要求セラレタリ

運河ヲ海面位式トナスヘキカ將タ閘門式トナスヘキカノ問題ハ議會并ニ國民一般ノ爭點ト
ナリ其結果トシテ大統領ハ築造セラルヘキ運河ノ方式ニ關シテ大統領ニ意見ヲ具シテ参考
ニ供セシムル爲メ顧問技師局(International Board of Consulting Engineers)ヲ設置シタリ此局ハ十三
人ヨリ成リ内八人ハ亞米利加人五人ハ歐洲人トシ歐洲人中四人ハ各大英國、佛蘭西、獨逸、及ヒ
に一ざーらんご政府ノ推舉ニ係リ他ノ一人ハ蘇士運河委員ノ代表者ヲ採用セリ

顧問技師局ノ多數說ハ終ニ一昨年(千九百六年)ノ一月ぶるつせるすニ於テ調印セラレタルガ
全歐洲委員ヲ含メル八人ノ委員ハ海面位式ヲ推舉シタリ是レ則チ多數ノ閘門ヲ設ケスシテ
運河ヲ築造スル案ニシテ唯巴奈馬側ニ於テ潮流ノ不正ナル速度ヲ避クル爲ミニ潮水閘(Tidal

(Lock) ヲ設ケサルヘカラズトノ意見ナリ此潮水閘設置ノ必要ハ運河ノ両端ニ於ケル干満潮位差ノ甚シキ爲メニ起リタルモノニシテ裏海ニ於ケル干満差ハ二呎ニ昇ルコトアルヲ以テナリ而シテ他ノ五名ノ委員ハ閘門式ヲ主張シタルニ此少數意見却テ合衆國內ニ於テ賛成ヲ得タリ但シ其計畫ハ變ニ設計セラレタルモノニ比スレハ同シク閘門式ナレドモ大ニ其趣ヲ異ニセリ

海面位式計畫ノ反對ヲ受クルハ主トシテ工費ノ點ニ在リ即チ該式ニ據レハ二割ノ豫備費ヲ見込ミテ工費總計金二億四千七百萬弗ノ豫算ナリ一方又閘門式ノ反對説ハ先ツ他ノ事ヲ差置キがつん(Gatun)ニ於ケル八十五呎ノ水位ニ打勝ツ爲メニ閘門ノ一連ヲ設ケサルベカラススクリテハ是等多數閘門ヲ通過スル大船舶ニ危險ノ伴ハシコトヲ慮リテナリ然ルニ此非難ニ拘ラス當時組織セラレシ地峽運河委員會ハ閘門式即チ顧問技師局少數意見ノ計畫ニ賛成ノ意ヲ表シ政府及ビ一千九百六年ニ開カレタル兩院ノ多數亦此說ニ賛成セリ

工事施行地ニ關シテハ地峽ヲ衛生的狀態ニ置クコトノ目的ニ企テタル作業ヲ實地ニ完成シテ全然成功シ今ヤ勇敢ニ運河ノ掘鑿ニ勉メツヽアリ而シテ其工事ノ大部分ハ分水嶺ノ處ニ於テ施サレ居レリ此地方ハ丘陵地七八哩ニ亘リ彼ノきゆるぶら切取(Culebra Cut)トシテ著名ナル處ニシテ海面位運河ノ完成ニ要スル掘鑿土總坪數二億三千百萬立方碼中壹億壹千萬立方碼ハ實ニ此分水嶺ノ切取土ナリト云フ又以テ其大工事ナルヲ察スヘシ

昨千九百七年八月ニ於テ合衆國政府ノ使傭人ハ運河線及ビ巴奈馬運河鐵道(政府ノ所有ニ係ル)ニ働ケルモノヲ併セテ白人種壹萬壹千七百三十三人着色人種貳萬八千七百十人總計四萬

四百四十三人アリ且ツ此工事ニハ一事業トシテ嘗テ集メラレタル設備ノ最大ナルモノヲ含ミ又其機械等ノ大部分ハ此度運河工事ノ爲メ新タニ構造セラレタルモノナリ
堀鑿ハ休止ナク行ハレ両端運河口附近ノ浚渫其他ノ工事モ漸次進捗シツ、アリ但シ現ニ施工セル工事ノ性質ハ運河ガ將來何レノ方式ニ定マルトモ支障ナキ方法ニ於テ進行シツ、アリ故ニ運河ヲ海面位式トナスヘキヤ又ハ閘門式トナスヘキヤノ大問題ハ實際未決ニ屬シ猶解決ヲ待チツ、アルモノト謂ハサルヘカラス

運河ノ計畫水深ハ四十呎ナリ

造船

○高速力船

(一千九百〇七年七月英國土木工學會講演ノ概要)

高速力トハ比較的ノ名辞タリ、彼ノ通報艦いりす號ノ十八哩、英國最古ノ水雷艇らいとにんぐノ十八哩半ノ如キハ一千八百七十八年ノ當時ニアリテハ高速力ト思惟セラレタレドモ現今ニテハ此ノ如キ船種トシテハ寧ロ遲緩ナリトセラル、ヲ見ルベシ

英國海軍ニ於テ計畫セラレタル水雷艇及驅逐艦ノ速力ニ關スル概念ハ略左表ニ依リテ知リ得ラルベシ

船名又ハ番號	全水雷艇	型	試運轉	製造所	年次	試速	排水量
らいとにんぐ							
第十四號艇	水雷艇						
三三、〇	二八五						
やーろー	そるにくろふこ						
一八七八	一八七七						
二三、〇	二八五						